



浜田市立 長浜小学校

浜っ子だより

節分に思ったこと

「心を鬼にする」とは…相手のために考えて

2月も半分を過ぎ、卒業式まで1ヶ月を切りました。今年度の長浜小学校を時に引っ張り、時に支え、全校のために頑張り続けてくれた37名の6年生と一緒に過ごすことができる時間もあとわずか。全校みんなで共に過ごせる一日一日を大切にしながら、素敵な思い出を一つでも多く作っていきたくと強く願っています。

少し前になりますが、2月4日は「立春」でした。実際にはまだまだ寒い日もあり、春とは言い難い気候ですが、暦の上では「立春」が過ぎ、春ということになります。そして、その立春の前日2月3日は「季節を分ける」という意味の「節分」でした。もともとは、季節の変わり目には邪気(鬼)が生じると信じられていたことから、その鬼を払うために豆をまいたようです。また、年齢の数だけ豆を食べるといふ風習もありますが、これは、米と同じエネルギー源で霊力を持つとされる豆を食べることで、力をいただけると考えられたからだそうです。「鬼は外、福は内」が一般的ですが、「福は内、鬼は(も)内」とする地域もあります。古くから伝わり、大切にされてきた日本独自の風習ですが、改めて調べてみると面白いものですね。

節分には豆まきをされたご家庭もたくさんあったのではないのでしょうか。我が家も、両親そして成人した娘も交えて豆まきをしました。さすがに鬼役を作ってまではしませんでした。家中の各部屋の窓を開け、掛け声をかけながら豆をまきました。

その際、以前観たテレビ番組のことを、ふと思い出しました。その番組では、ある体操クラブが紹介され、番組のインタビューに答えたコーチが、「子どもたちの才能を開花させるために、心を鬼にして指導する」と話をされていました。番組の中ではクラブのコーチの厳しい指導に涙を流している子どももいましたが、技ができた時の達成感や自分の技能向上に対する満足感から、「厳しいけど、とてもうれしい」と答えている子どもの様子も映っていました。

「心を鬼にする」とは、「他者に対して、可哀想だと思う気持ちを振り捨て、相手のために考え、あえて厳しい態度であたる」という意味です。注意したいのは、「可哀想だと思う気持ちを振り捨て」と「あえて」という部分です。平気で、あるいは感情的になって相手に辛く、厳しくあたっているのではなく、「相手のために考えて」心を痛めながらも厳しくしているのです。もし、そうでなければ、「心を鬼にして」ではなく、ただの「鬼」になってしまいます。

今年度もあと1ヶ月あまり。義務教育の9年間のうちの6年間を過ごす小学校での育ちは大変重要です。242人の子どもたちが一緒に生活していれば、毎日いろいろなことがあります。時には、毅然とした態度で厳しく指導しなければならない場面もあります。「褒めて育てる」「子どもの気持ちに寄り添いながら指導する」ことはもちろん大切ですが、場合によっては、「心を鬼にして指導する」ことも必要だと考えます。子どもたち一人一人に合った方法で、その時々で最良だと考える方法で、「褒めて励まし」「寄り添って話を聞いて」たまには「心を鬼にして」指導を行っていきたくと思えます。どんな時も、心に愛だけは忘れずに…。

子どもたち一人一人の今年度の成長や頑張りを振り返り、夢と希望をもって進学・進級できるよう、教職員一同全力を尽くします。保護者、地域の皆様、どうぞご協力お願いいたします。

「学校アンケート」集計結果より

保護者の皆様、子どもたち、そして教職員を対象に行った令和5年度の学校評価アンケートの集計が終わりました。特に、保護者の皆様方には、総数159名の方からご回答をいただき感謝いたします。それだけ、学校に関心を寄せ、学校に期待していただいている証拠だと感じました。本当にありがとうございました。その結果を一部ご紹介いたします。

<一番評価が高かった項目>

◎保護者

学校は、児童が主体的に活動したり、仲間と協働して取り組んだりできるよう、児童会活動や学校行事、学級活動で活躍の場を与えるように努めていると思う。

4. とてもよく思う	52 (33%)
3. まあまあそう思う	105 (66%)
2. あまり思わない	2 (1%)
1. 思わない	0



◎児童

すすんで活動したり、友達と協力してとりくんだりしている。

4. とてもよく思う	129 (54%)
3. まあまあそう思う	91 (39%)
2. あまり思わない	14 (6%)
1. 思わない	1 (1%)



上記の質問は、ともに「自治力」の育成にかかわるもので、保護者は99%、児童は93%の肯定的評価率となりました。また3点満点のポイントで計算した場合、保護者2.3点/3.0、児童2.4点/3.0という結果となりました。コロナ禍が明け、児童会活動や学校行事等が制限なく実施できるようになり、子どもたちの生き生きと取り組む姿が評価されたものと考えます。また、子どもたちが友達と力を合わせて様々な行事や活動に取り組んだことがわかります。

<今後さらに学校として力をいれていきたいもの>

◎保護者

学校は、「充実した心と体」を育てるために、メディアコントロールなどの取組を通して基本的な生活習慣を見直したり、あいさつや返事の習慣化が図れたりするように努めていると思う。

4. とてもよく思う	27 (17%)
3. まあまあそう思う	99 (63%)
2. あまり思わない	30 (19%)
1. 思わない	2 (1%)



上記の質問は、「体力」の育成にかかる「生活習慣」に関するもので、肯定的評価率は80%、ポイントは1.8点/3.0でした。自由記述の欄にも、挨拶がもう少しというご意見も多数あり、保護者、地域の皆様方のご協力をいただきながら、今後、更に指導を充実させていく必要があると考えます。

◎児童

わくわくするような たのしい じゅぎょうがおおい。

4. とてもよく思う	108 (46%)
3. まあまあそう思う	78 (33%)
2. あまり思わない	38 (17%)
1. 思わない	9 (4%)



上記の質問は「学力」の育成に関するもので、肯定的評価率は79%、ポイントは2.0点/3.0でした。算数科を中心に、子どもたちの学習意欲を駆り立てるような問いの工夫、子どもの声を大切にした対話の重視などを意識した授業改善を行っているのですが、まだまだ道半ばのようです。質の高い、それでいて子どもたちが楽しいと思える授業づくりに努めます。

教職員に対する心温まるたくさんのメッセージや貴重なご意見をたくさんいただきました。本当にありがとうございました。

地域医療教育を通して



地域医療教育とは、ふるさと教育の一環として「地域医療」をテーマに地域医療の現状や課題を知ったり、自分達のふるさとについて考えたりするものです。また、キャリア教育としての側面もあり、将来の職業について考えたりもします。長浜小学校では例年、5・6年生がこの地域医療教育の学習をしています。今年度は、5年生は学校歯科医である近藤先生、6年生はシーズ薬局の佐々木薬剤師さんから、それぞれお話を聞きました。歯科医や薬剤師といった職業についての話だけではなく、お二人の仕事そしてふるさとに対する思いなども聞かせていただき、貴重な学びの場となりました。

《授業後の児童の感想より》

○近藤先生のお話を聞いて、どんな仕事についても地域の人の役に立っていることをほこりに思うことが大事だということが分かりました。今後、この町を支えていくのが私達だと考えると、責任をもたないといけないなと思いました。
○私には夢があります。その夢にたどりつくには、あきらめないという事を知りました。あきらめない気持ちを大事にしようと思ったし、その夢をかなえた時には、その力で地域を盛り上げたいと思いました。夢をかなえるには道のりが長いけど、がんばります。

楽しかった昔遊び体験



2月8日(木)、1年生が生活科の学習で昔遊び体験をしました。当日はお手玉、かるた、めんこ、けん玉、あやとり、こま回しの6つのコーナーがあり、地域ボランティアの皆様が、それぞれのコーナーで遊び方を教えてくださいました。実演を交えてコツを教えてくださいました。一緒に遊んでくださったりしました。会場になった1年生教室そしてワークスペースには、子どもたちの歓声がこだまし、たくさんの笑顔の花が咲きました。

活動の様子を見させていただきましたが、子どもたちの目がキラキラしていたこと、そしてボランティアの皆様が楽しそうに子どもたちと遊んでくださっていたことが印象に残りました。学校が何かをしたいと思った時に、今回のようにその活動を支援くださるたくさんの方がいらっしゃるということは、学校にとりましては本当に有難く、幸せなことです。ご協力いただきました地域ボランティアの皆様、本当にありがとうございました。

今年度の学校の合言葉通り、子どもも、大人も輝く素敵な活動、そして素敵な時間となりました。

第2回 ふわふわ集会

2月15日(木)、全校児童が集まった第2回ふわふわ集会がありました。今回のふわふわ集会は、7月に行ったふわふわ集会の際に発表した、友達を大切にするための各学級の決意についての振り返りを発表したり、言葉の伝え方について改めて考えたりしました。



【振り返りを発表する1年生】

【浜っ子班ごとに言い方あてゲームに挑戦】

言葉は魔法です。一瞬で誰かを幸せな気持ちにすることもできれば、ひどく傷つけてしまうこともあります。大切なことは魔法をもっていることではなく、その魔法をどう使うかだと思います。集会の最後の挨拶で、代表児童が「言葉は言えればいいというものではなく、その言い方・使い方も大切です」と言いました。まさにその通りです。ふわふわ言葉も、心を込めて、優しく言わなければ、ふわふわ言葉にはなりません。改めて大切なことに気付かせてくれた集会でした。

今年度も残り1ヶ月あまり。242人の子どもたちがふわふわ言葉をはじめとする、たくさんの素敵な魔法を上手に使いながら、誰もが、穏やかに、温かく、安心して過ごすことができる長浜小学校を子どもたちと一緒に作っていきたい、そう強く思いました。

ありがとうございました！

1月下旬、長浜小学校にも、待ちに待ったあの素敵なプレゼントが届きました。そうです。メジャーリーグで活躍する大谷翔平選手からのグローブが、「野球しようぜ！」の写真入りメッセージとともに届いたのです。寄贈していただいたグローブは右利き用2個、左利き用1個で、大谷選手のサインが印字されています。



長浜小学校では、全校朝礼を開いて、グローブとメッセージの手紙を紹介し、野球のスポ少に入っている代表児童2名にキャッチボールをしてもらいました。その後、すべての学級にグローブを回し、全員がグローブを手にはめることができるようにしました。今後は、各学年が使用できる期間を決めて、実際にグローブを使って遊べるようにしていきます。

野球に限らず、なんだっていい。子どもたちには夢や希望をもって、その実現のために努力し続けてほしいと願っています。

大谷選手、ありがとうございました。

3月の主な行事



- 7日(木) 6年生を送る会
- 19日(火) 卒業式
※4・5年生：参加 1～3年生：臨時休業
- 21日(木) 給食終了
- 22日(金) 修了式 離任式 集団下校

★あくまでも予定ですので、変更になることもあります。